１．件名：第 49 回 JANSI 定例情報交換会議

２．日時：令和６年２月 13 日（火）　16:00～17:20

３．場所：原子力規制庁２階会議室（オンライン開催）

４．出席者

原子力規制庁

原子力規制部検査監督総括課　片岡主任検査監視官、飯田係長

技術基盤グループ技術基盤課　久保課長補佐　松田課長補佐、安田専門職

原子力安全推進協会

パフォーマンス向上支援部　部長、他３名

５．要旨

１）原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）からの情報提供

〇最近のスクリーニング状況

資料１を用いて、JANSI から最近の運転経験情報スクリーニング状況が報告された。電力事業者内での情報共有を目的とした「参考」分類が２件あった。

〇国内外の事故・トラブル情報に関する質問事項への回答

資料２を用いて、JANSI から最近の事故・トラブル情報に係る原子力規制庁（以下「NRA」という。）担当の質問に対する回答が示された。国内では機器・設備の分解点検等による予防保全にも重きを置いていることや、原子力発電所設備の重要度分類等を踏まえ、非安全系の設備・機器についても保全の対象とするなど、海外との相違が説明された。

〇最近の運転経験活動状況

資料３を用いて、JANSI の最近の運転経験活動状況が報告された。国内事業者向けの OE セミナー（２日間）が２月にオンラインで開催された。本セミナーは毎年実施され、JANSI の運転経験に係る活動の紹介並びに原子力施設情報公開ライブラリーニューシア（NUCIA）を用いた事象報告に係る演習等が実施されている。

２）NRA からの情報提供

〇最近のスクリーニング状況

資料４を用いて、NRA 検査監督総括課が実施する国内外原子力施設の運転経験情報のスクリーニング結果（案）を報告した。海外と異なり、国内原子力施設の機器・設備の保全においては、事業者のみならず機器・設備ベンダーの寄与が高いことなどを確認した。

６．配布資料及び参考情報

資料１：OE 情報スクリーニング状況（資料 49－1）

資料２：第 49 回定例情報交換会御質問事項への回答（資料 49－2）

資料３：最近の OE 活動の紹介（資料 49－3）

資料４：スクリーニング結果（案）（資料 49－4）

以上